

【6-C】大学横断的・地域横断的 新生児医師養成の必要性

- ◆従来は：“医局”が医師養成をコーディネート
(医師の時間的・空間的不整合性の微調整機能も果たしていた)
- ◆新医師臨床研修制度以後は：コーディネート機能の消失
→医局への回帰 or 都道府県による養成 等の検討
新生児医療のような特殊分野にはいずれも小規模
- ◆第三者機関による大学横断、地域横断的研修コーディネート
 - 1)専門研修の支援(学会OB医師による後見人制度)
 - 2)休職医師の復帰支援
 - 3)ワークシェア、地域再配分を含む就業支援
学会・専門医制度と密接な関係をもつ必要あり

NICUの不足に対する都道府県の認識

周産期医療ネットワーク及びNICUの後方支援に関する実態調査の結果について
(厚生労働省母子保健課2007.10)

全体では NICUが(ほぼ)充足：20自治体 (43%)、
把握していない：13自治体 (28%)、
不足：14自治体 (30%)

	新生児死亡率		
	低い県	平均的な県	高い県
NICU不足している(%)	50	21	36
後方支援不足している(%)	63	54	45



逆関係にあることに注意！